

# Book Review

## 月刊「デンタルハイジーン」別冊 Tooth Wear 患者背景から探る酸蝕・摩耗・咬耗への対応

西村耕三 著



Reviewer

田上順次 Junji Tagami  
(東京科学大学名誉教授)

AB判, 136頁  
カラー  
定価 3,850円  
(本体 3,500円+税 10%)  
医歯薬出版刊  
2024年11月発行



う蝕と歯周病に次ぐ、第3の歯科疾患として Tooth Wear (トゥースウエア) への対応の重要性は古くからいわれていますが、臨床の現場では十分に認識されていないようです。日本人では26%が病的な酸蝕症に罹患しています。正常な範囲を超える咬耗症や摩耗症の方を入れるとさらに多くの患者さんがトゥースウエアに罹患していると考えれば、日常の臨床の中では、かなり多くの患者さんが見落とされていることとなります。

本書の著者の西村先生は、開業されて40年間、地域医療に貢献されてきましたが、トゥースウエアの中でも特に重症化しやすい酸蝕症の予防と治療にも精力的に取り組んでこられました。現在では全国各地からの患者さんだけでなく、海外在住の方が先生の治療を受けるために一時帰国されるほど、酸蝕症の対応では第一人者となりました。すべての患者さんの立場に立った親身の対応が多くの患者さんに頼りにされているのだと思います。

初期での診断は難しいものですが、本書ではとても実用的で簡便な診断法とともに、わずかな切歯表面の着色と

酸蝕症との関連など、胃食道逆流症を含めて、早期発見のための症状や兆候が豊富な臨床例とともに提示されています。さらに電話予約の際の観察項目や注意事項に加えて、身体的な特徴まで具体的に提示されており、豊富な臨床経験による情報を学ぶことができます。スポーツの種目、食習慣のほか、消防士や自衛官の患者さんも登場して、職業別のリスクや指導法まで紹介されています。これらはクリニックの職員全員で共有すべき貴重な情報です。

治療に際してはミニマルインターベンション (MI) を軸に、健康な歯質を極力切削しない方針でダイレクトボンディングにより、ほぼすべての対応がなされています。近年提唱される、Additive Dentistry (付加型修復) を実践し、セラミックやジルコニアを使用しない理由も明確に示されており、薄くなった歯に対して部分修復でなく、歯全体の厚みを回復させるという「ダイレクトフルカバレッジ」ともいうべき独創的な対応も大変興味深いです。

西村歯科医院では患者さんに寄り添い、かつクリニックの経営にも貢献で

きる新概念としての Advanced MID を実践し、適切な修復処置と歯科衛生士による指導とメンテナンスプログラムの体制が確立されています。予防のプログラムとしては、PCTE という新たなメニューも実践されています。これは PMTC (Professional Mechanical Tooth Cleaning) ではなく、マウスピースとホワイトニング剤、MIペースト、抗菌剤ジェルなどを活用し、歯質の強化だけでなく、色調改善や変色防止にも役立ちます。スキンケアやヘアケアにならって、いつまでも歯をきれいで丈夫に保つことを目的に、歯科医療の中で行う Professional Chemical Tooth Enrichment (PCTE) と名付けたものです。

本書は歯科衛生士向けに執筆されていますが、歯科医師にとっても必要なトゥースウエアの情報が網羅されています。本書の内容を歯科衛生士が実践することで、クリニックの集患に貢献できますし、何よりも多くの患者さんに歯科医療の恩恵を受けていただくための学術情報に裏付けられた素晴らしい実用書です。